

ご注意ください

# トビイロウンカ情報 vol.1

令和4年7月6日、大阪府病害虫防除グループから、防除ニュースとして、「水稲トビイロウンカ今年の状況について」が発表されました。

(下記、大阪府病害虫防除グループ・ウェブサイトよりご覧いただけます。)

※防除ニュース一部抜粋版添付

## 【これからの注意ポイント】

- ・飛来した個体が少ない内から、本田で繁殖させないよう初期防除が重要。
- ・7月1日飛来のトビイロウンカの第一世代若齢幼虫期は7月中下旬と予想。
- ・現在主力の予約農薬(フルスロトル箱粒剤、ブイゲットフェルテラセクサロンL箱粒剤)ではない箱粒剤を施用した場合は、7月中旬には薬効が低下している恐れあり。
- ・箱粒剤を使用せず、また田植え後にウンカ剤を使用していない圃場は特に注意が必要。

以上のことを勘案して、飛来したトビイロウンカが繁殖して増える心配がある場合は、7月中下旬、中干の後に湛水状態にもどしたら、


**アプロードパダン粒剤、パダントレボン粒剤、スタークル粒剤、スタークル豆粒**

などの、ウンカ登録薬剤を施用しましょう。

※下記、大阪府病害虫防除グループ・ウェブサイト掲載の「防除ニュース」の「表 トビイロウンカ本田施用剤(例)」に掲載されている農薬には、当JAで取り扱いのないものも含まれています。

※詳しくは最寄りの営農経済センター、または営農指導課(0721-80-3386)にお問い合わせ下さい。

病害虫など営農情報についてはこちらからも発信しています

大阪府病害虫防除グループ・ウェブサイト <a href="http://www.jpnp.ne.jp/osaka/">http://www.jpnp.ne.jp/osaka/</a>	JA大阪南ホームページ <a href="https://www.ja-osakaminami.or.jp/">https://www.ja-osakaminami.or.jp/</a>
大阪府・病害虫発生・防除情報 メールサービス(申込方法) <a href="http://www.jpnp.ne.jp/osaka/mailexservice/mailexservicemousikomi.html">http://www.jpnp.ne.jp/osaka/mailexservice/mailexservicemousikomi.html</a>	JA大阪南 営農指導課 LINE  LINE ID @350frtt

## 水稲トビイロウンカ今年の状態について

### 1 トビイロウンカの今年の状態

府内の予察灯3カ所（枚方市、岸和田市、羽曳野市）では5月中の誘殺は確認されませんでした。6月19日に羽曳野市の予察灯でトビイロウンカ雌1頭の初誘殺を確認しました。これは初誘殺確認時期としては平年並みです。また22日にも同予察灯で雄2頭の誘殺を確認しました。

近隣府県では、奈良県で6月10日、18日に誘殺が確認されています。

トビイロウンカは例年6月から7月にかけて、梅雨前線に向かって吹き込む下層ジェット気流に乗って中国大陸から飛来します。本年は、気象台の発表では近畿地方は6月14日に平年より8日遅く梅雨入りしましたが、6月28日に平年より21日も早く梅雨明けを迎えました。



梅雨明けに伴う梅雨前線の北上・消滅により、今後は大陸からの大阪へのトビイロウンカの飛来は少なくなるものと考えられるものの、今後も引き続き、本田での発生や防除所等からの情報には十分注意してください。

▲（参考）トビイロウンカ（長翅型・オス）



◀（参考）トビイロウンカ（短翅型・メス）  
（農研機構 九州沖縄農業研究センター提供）



▲（参考）令和2年10月のトビイロウンカによる坪枯れ被害